



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL http://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業戦略室長 (氏名) 木村 浩 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,879	6.7	1,024	0.0	1,051	△21.6	713	△19.1
27年3月期第3四半期	7,383	5.0	1,024	△6.3	1,340	23.5	881	△23.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 671百万円 (△42.9%) 27年3月期第3四半期 1,176百万円 (△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	67.15	65.89
27年3月期第3四半期	83.57	81.64

(注) 当社は、平成27年4月1日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	13,233	11,249	84.7	1,052.24
27年3月期	13,170	10,889	82.3	1,020.86

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,203百万円 27年3月期 10,844百万円

(注) 当社は、平成27年4月1日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
28年3月期	—	16.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	5.3	1,250	△7.4	1,000	△40.4	600	△51.9	56.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	10,647,200株	27年3月期	10,622,800株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	-株	27年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	10,625,207株	27年3月期3Q	10,548,573株

(注) 当社は、平成27年4月1日付にて普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復が続きましたが、新興国・資源国経済の減速が顕著でありました。米国では、企業業績の改善に弱さがみられるものの、良好な雇用・所得環境を背景に個人消費等の内需が堅調に推移し緩やかな拡大基調が続きました。欧州も、新興国の景気に引きずられ輸出が伸び悩んだ一方で個人消費や内需が堅調となり、欧州全体で緩やかな景気の回復が続きました。アジア経済も全体的には緩やかな成長が続きましたが、中国経済は成長率の鈍化等により先行きが不透明となっております。

わが国経済におきましては、生産動向に持ち直しの兆しが見られるものの、円安も一段落するとともに、輸出や個人消費の伸び悩みにより景気は足踏み状態が続いております。

半導体業界におきましては、PC需要の低迷やタブレットの急減速、スマートフォンの成長鈍化が明確となり、市場全体は軟調にあるものの引き続き車載分野での需要は堅調でありました。

このような環境のなかで、当社グループは、「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」という経営理念のもと、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・産業機器、車載機器等の市場を重点分野として位置付け、お客様への積極的なソリューション提案を通じて、新規商談の獲得に努めました。
- ・ビジネスユニット制の下で、ユニット毎に機動的な製品の企画・開発を実行してまいりました。
- ・製品開発、製造、マーケティングにおいて戦略的アライアンスを継続し、OEM製品の拡充や新製品の開発を進めました。
- ・有力メーカーに比肩する高収益体質の実現に向けて、関連部門の相互協力によって高付加価値のビジネスに注力する戦略を進め、利益率の維持向上に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高78億79百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益10億24百万円（前年同期比0.0%増）、経常利益10億51百万円（前年同期比21.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億13百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に車載機器、産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、デジタル家電、情報機器等の分野向けの売上が低迷したことにより、22億10百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に車載機器、産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、情報機器、PC機器等の分野向けの売上が低迷したことにより、45億65百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、6億15百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主にデジタル家電等の分野向けの売上が増加したことにより、4億87百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は110億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億57百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億40百万円減少、受取手形及び売掛金が1億3百万円増加、有価証券が2億円増加したことによるものであります。固定資産は22億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億95百万円減少いたしました。これは有形固定資産が46百万円増加、無形固定資産が29百万円減少、投資その他の資産が2億11百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、132億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は15億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が3億3百万円減少、賞与引当金が72百万円減少、損害補償損失引当金が1億10百万円増加したことによるものであります。固定負債は4億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が20百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、19億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は112億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億60百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益7億13百万円、剰余金の配当3億29百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.7%（前連結会計年度末は82.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の実績等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年2月12日）公表いたしました「平成28年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,202,023	6,061,032
受取手形及び売掛金	1,937,495	2,040,696
有価証券	500,000	700,000
たな卸資産	1,807,225	1,910,059
その他	306,813	302,306
貸倒引当金	△268	△3,271
流動資産合計	10,753,288	11,010,823
固定資産		
有形固定資産	1,046,078	1,092,443
無形固定資産	206,961	177,014
投資その他の資産	1,164,661	952,859
固定資産合計	2,417,702	2,222,317
資産合計	13,170,991	13,233,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,202	870,312
短期借入金	3,567	3,568
1年内償還予定の社債	108,000	60,000
未払法人税等	415,556	112,086
賞与引当金	111,802	39,690
損害補償損失引当金	—	110,000
その他	357,870	381,496
流動負債合計	1,886,999	1,577,154
固定負債		
退職給付に係る負債	207,289	228,261
役員退職慰労引当金	6,800	8,858
その他	180,530	169,225
固定負債合計	394,620	406,345
負債合計	2,281,620	1,983,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,810,148	1,819,146
資本剰余金	4,277,122	4,286,120
利益剰余金	4,439,763	4,823,992
株主資本合計	10,527,033	10,929,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,219	10,230
為替換算調整勘定	294,208	264,016
その他の包括利益累計額合計	317,428	274,246
非支配株主持分	44,909	46,134
純資産合計	10,889,371	11,249,641
負債純資産合計	13,170,991	13,233,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,383,763	7,879,525
売上原価	3,791,224	4,017,950
売上総利益	3,592,538	3,861,575
販売費及び一般管理費	2,568,182	2,837,163
営業利益	1,024,355	1,024,412
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,950	10,589
為替差益	338,399	37,211
ロイヤリティ収入	4,001	4,199
その他	5,600	7,681
営業外収益合計	352,951	59,681
営業外費用		
支払利息	3,574	827
支払手数料	—	28,000
株式公開費用	24,726	—
その他	8,289	3,477
営業外費用合計	36,589	32,304
経常利益	1,340,717	1,051,789
特別利益		
受取保険金	—	104,610
特別利益合計	—	104,610
特別損失		
損害補償損失引当金繰入	—	110,000
特別損失合計	—	110,000
税金等調整前四半期純利益	1,340,717	1,046,399
法人税等	456,572	331,732
四半期純利益	884,144	714,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,583	1,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	881,561	713,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	884,144	714,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,894	△12,988
為替換算調整勘定	281,523	△30,060
その他の包括利益合計	292,418	△43,048
四半期包括利益	1,176,563	671,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,167,590	670,393
非支配株主に係る四半期包括利益	8,972	1,224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	2,125,398	4,272,110	502,296	483,958	7,383,763	—	7,383,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,643,835	373,602	37,496	10,904	5,065,838	△5,065,838	—
計	6,769,233	4,645,712	539,792	494,862	12,449,602	△5,065,838	7,383,763
セグメント利益又は損失(△)	930,500	100,972	△4,083	9,584	1,036,973	△12,618	1,024,355

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△12,618千円には、セグメント間取引消去△7,403千円、のれんの償却額△5,214千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,199,230	2,400,566	1,192,005	591,960	7,383,763

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	2,210,063	4,565,532	615,941	487,988	7,879,525	—	7,879,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,900,123	349,191	34,826	14,034	5,298,175	△5,298,175	—
計	7,110,187	4,914,723	650,767	502,022	13,177,701	△5,298,175	7,879,525
セグメント利益又は損失(△)	912,202	78,628	33,931	△21,559	1,003,202	21,209	1,024,412

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額21,209千円には、セグメント間取引消去21,209千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,272,281	2,785,846	1,189,280	632,116	7,879,525

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。